

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	TREX2 複合体構成分子・GANP関連分子の様々な腫瘍における発現解析		
2. 対象患者	2006年1月1日から2017年3月31日までに、弘前大学泌尿器科で精巣腫瘍で手術を受けられた患者さんを対象とします。		
3. 対象となる期間	2006年1月1日 ～ 2017年3月31日		
4. 実施診療科等	病理生命科学講座・泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	吉澤 忠司	所属 病理生命科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	藤田医科大学医学部・病理診断学講座 酒井 康弘		
7. 研究の意義	核内遺伝情報を核外へ輸送する際に必要とされる分子群の発現異常は、遺伝子の障害に深く関与しています。そして、これらの分子群の発現異常がさまざまながんの発症に深く関与することを、マウスを用いた実験で明らかにしてきました。本研究では、ヒト腫瘍病変において、これらの分子群の発現を手術標本(病理標本)を使用して解析します。そして、ヒト腫瘍発生のメカニズムを明らかにしたいと考えています。		
8. 研究の目的	腫瘍組織(病理標本)を使用して、上記分子群の発現と腫瘍発生や悪性度との関係を検証します。そして腫瘍発生のメカニズムを明らかにすることで、あらたながん治療の開発に寄与したいと考えています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	弘前大学病院に保存されている精巣腫瘍の手術標本(病理標本)、患者様のカルテから得られた臨床情報(腫瘍の広がりや予後の情報など)を使用します。以上の情報は、代表機関に提供され、病理標本から得られた画像情報を解析し、これらの結果が腫瘍の広がりや予後とどのように相関するかを統計的に解析します。		
10. 個人情報の保護	病理標本、画像情報、症例報告書は、いずれも患者様の個人情報とは無関係の本研究用の登録番号を付して管理を行い、秘密保護に十分配慮いたします。また、研究結果を公表する際には個人を特定できる情報を一切含まないよう配慮します。収集された情報は、代表研究機関に提供され、解析がなされます。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外し、データを削除します。ただし、既に研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんので、ご了承下さい。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座 助教 吉澤忠司		
	電話	0172-39-5029	FAX 0172-39-5030